

## コロナ禍におけるキャリア教育を考える

多古町教育研究協議会キャリア教育研究部 部長 八木達彦

多古町のキャリア教育は、平成16年度に文部科学省の指定を受けて以来、先進的な取組をしてきた。推進連絡協議会をいち早く立ち上げ、多くの事業所に職場体験を受け入れてもらうなど、地域の方々の協力を得ながら、キャリア教育を推進してきた。

しかしながら、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年小中学校が実施している職場体験学習が中止となった。また、修学旅行をはじめとする校外学習や社会科見学も中止又は規模縮小での実施を余儀なくされた。

このような状況の中で、キャリア教育をどのように推進していくかが大きな課題となった。本部会では、これまでの各学校におけるキャリア教育を見直すよい機会と捉え、次の3点を今年度の重点とした。

- ①各教科等で実施しているキャリア教育の学習内容について見直す。
- ②職場に出向くことができないならば、職場の方を講師として迎え入れる方法について検討する。
- ③これまで職場体験を受け入れてくれた事業所の方に、次年度以降の協力を要請するとともに、実施事業所一覧表の作成に取り組む。

今年度は「コロナ禍だからできない」のではなく「コロナ禍でもできる活動を見つける」ことを基本方針に活動してきた。次年度以降も新しい生活様式に応じたキャリア教育の在り方について引き続き考えていきたい。

## キャリア教育研究部 調査班より

今年度は、新型コロナウイルスの流行により、小学生の「ゆめ・仕事ぴったり体験」中学生の「職場体験」が実施できませんでした。しかし、様々な校外学習の中止や縮小の中、可能な範囲で校外学習に御協力いただいた事業所の皆様には、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

調査班では、例年ですと職業体験に御協力をいただいた皆様に向けてアンケートを実施させていただいているところですが、上記のような実態から、来年度以降に向けて、「教職員と子供たちと事業所を繋ぐ」ために、協力いただける事業者の皆様への連絡調査や、実施可能な活動内容の把握を行いました。調査を行う中で、新規事業者の皆様とも連絡をすることができ、調査班の資料をもとに、学校でも新たな活動が生まれることを期待しています。

また、事業所の方からこんな嬉しい声もいただきました。「コロナ禍であっても、学校教育に携わりたい気持ちだ。」「出張授業でも構わない。食育に関わることも伝えていきたい。」等々本当にありがたい限りです。

たくさんの事業所の皆様が、来年度以降の活動先として受け入れを快く引き受けてくださいました。お忙しい中にもかかわらず、調査にご協力いただきありがとうございました。

## キャリア教育 各学校の実践

### 1年家庭教育学級「親子体験教室」

家庭教育学級事業の一つとして、職業体験施設「カンドゥー」に行き、親子で様々な職業体験をしました。本格的な施設で、スタッフの方から楽しくわかりやすく、教えていただきました。1年生の子供たちは、コスチュームを着て、あこがれの職業にふれ、将来の仕事に夢を膨らませることができました。

- たこ焼きを作るのが楽しかったです。
- アイス屋さんで、「おいしくなあれ。」と言ったら、本当においしくなりました。
- いろいろなことができてうれしかったです。
- 一番楽しかったのは、パイロットです。
- 警察官もやりたかったけど、できませんでした。
- サーキットで、車の運転やタイヤを交換すると知ってすごいなと思いました。
- モデルが、楽しかったです。見られると、ドキドキしました。
- ピザがサクサクして、チーズがのびて、トマトソースの味がおいしかったです。
- 今度行ったら、まだ行ってないところに行きたいです。

### 5年「宿泊学習を成功させよう」

5年生は、昨年度の宿泊学習の経験をいかし、上級生としてリーダーシップを発揮するために、混合班での活動を行いました。様々な場面で4年生をリードする場面が多くみられ、貴重な経験ができた活動となりました。

- グループでは4年生をまとめ、しんぐ係では、4年生にいろいろなことを教えることができました。学校生活でも、下級生の面倒をみてあげたいです。
- 施設では、活動に使った用具を次の人のためにきれいに片付けることができました。学校生活でも、次に使う学年のために使った用具をきれいにしたいです。
- ウォークラリーでは、メンバーのみんなと協力して楽しく活動できました。学校生活でも、他学年と協力して活動していきたいです。

### ＜久賀小学校＞



5年「多古町の農産物を調べよう」役場の方やJAの方においでいただき、多古町の農産物について教えていただいたことをいかして、一人一人テーマを決めて農産物調べを行いました。

- 私は水戸の農家さんに、お米や野菜作りについてインタビューしました。今年は日照不足で稲の丈は長くなるけど、根が短くて、病気になりやすいと心配していました。農業は自然とたたかって作業していることがわかりました。農家の皆さんが作る野菜をもっと大切に食べようと思いました。
- 私がインタビューした農家さんは、インターネットを使って、全国の人に多古米を販売していることを知りました。多古米作りのこだわりは、農薬をできるだけ減らして安心な米を作ることだそうです。努力して作られた多古米を、たくさんの人に食べてもらいたいです。
- 5年生は、夏休みに調べたことをポスターにまとめて、報告会をしました。5年生同士で報告した時は、いろいろな野菜調べがあって驚きました。多古町はやっぱり農業が盛んなのだとわかりました。

### ＜多古第一小学校＞



### 6年「多古第一の伝統をつなごう」～合言葉は、集中して頑張ろう！～

3年間、鼓笛練習や発表に協力して取り組むことを通して、自分の役割を感じ、集団の中での有用感を感じることで活動となりました。

- 今年は最初で最後の鼓笛。あじさい祭でできなかった分、運動会で存分に力を出し切れました。緊張はしたものの一生懸命たくさん練習してきたから悔いはありません。演奏を聞いてみんなが笑顔になってくれたら、励みになってくれたらと思います。最後までしっかり演奏できました。
- 今年度はたった1回の鼓笛の発表。私は、経験した3年間の中で一番よい鼓笛になったと思います。これからも何事にも“ほんき”で取り組んでいきたいです。
- 練習してきた力を本番でも出せるか心配でしたが、スピードも遅くなったり速くなったりしないで演奏できたので良かったです。演奏していてすごく気持ちがよかったし、楽しかったです。思い出に残る運動会になりました。





## ＜中村小学校＞

### 3年「多古町の安全を守る人を調べよう」

社会科の校外学習で、多古分署へ見学に行きました。町の安全を守るために働いている人の話を聞いたり、初めて見る道具について教えていただいたりしました。その場で積極的に質問して、わかったことを学校でまとめて発表することができました。

- 消防署の中を見たり、放水体験をしたりして、消防士の仕事をたくさん知ることができました。特に、食事をどう摂っているのか、今年の台風のような時は何日も泊まりこむことがあったことなど聞いて驚きました。消防士さんが頑張っていることを知ることができました。
- 普段は見ることでできないものを見せていただいたことや、消防士の仕事の大変なことを初めて知って驚きました。消防士の仕事をもっと見てみたいと思いました。
- 消防署では、消防車についてたくさん知ることができました。特に、消火用ホースを転がしてのぼすことを体験した時に、ぼくは上手くできませんでした。消防士さんは力強くホースをのぼしていてかっこよかったです。



### 6年「夢・あこがれ・未来の自分」

自分が将来つきたいと考えていたり、興味をもっていたりする職業について調べ、まとめたものを発表しました。

- 私は職業調べでディズニーキャストについて調べました。仕事の量が意外に多かったり、「こんな仕事をしているのか」と思うような仕事があったりなど、とても勉強になりました。大人になったら絶対にこの職業に就きたいです。
- 私は成田空港について調べました。貨物、飛行機やバスの運転、アナウンスなど様々な業務があることを知りました。将来この仕事に就きたいと思います。
- 私はメイクアップアーティストについて調べました。体調管理の大切さや、新しいものを常に追求しなければならないということを知りました。難しいこともあるので、自分なりに練習をして将来にいかしたいです。



## 1年「道セミナー」

多古中学校では、地域教育力を活用し、文化的教養の向上を図るとともに、中学生と地域住民との交流の深化を図ることを目的として道セミナーを行っています。今年度は、成田空港に発着する航空会社の方を講師としてお迎えし、講話をいただきました。

- 今回の道セミナーでは、空港でグランドスタッフとして働いている方のお話でした。内容を通して、すごいなと感じたことは、いくつもの言語が話すことができるということです。自分はまだ、日本語しか話せませんが、これからも勉強していきたいと思いました。
- 道セミナーでは、グランドスタッフの方の講話を聞き、空港での仕事についていろいろなことを知り、さらに質問することもできてよかったです。私はまだ飛行機に乗ったことが一度も無いので、将来乗ってみたいです。
- 私は道セミナーで多くのことを学びました。整備士とパイロットの仕事は、たくさんの方の命を預かっていてとても大変だけど、どちらもやりがいがあるということがわかりました。また、航空業界の仕事にも少し興味がわきました。
- 私は今回の講話を聞いて、自分の将来について深く考えました。特にパイロットの方の講話では、パイロットは女性でもなれるということに驚きました。私は、空を飛ぶ、飛行機を操縦するということに憧れがありました。しかし、「パイロットは男性しかできない」と勝手に考えていたので、将来の夢の選択からは外していました。現在は女性でもなっている方がいると知り、「なってみよう」という気持ちが芽生えました。

中学校3年生は進路決定に向けて、1・2年生は自分の将来の夢について考える時期です。成田空港で働くということも視野に入れ、自分の進路についてしっかりと考えられるように、指導していきます。

## ＜多古中学校＞



## 町キャリア教育事業 花 交 流

- 多古高校園芸科の生徒さんに教えていただきながら、ストックの花の種をまきました。
- お兄さん・おねえさんとの花交流は楽しかったです。1月にまた会えることを楽しみにしています。
  - これから種が大きくなるのが楽しみです。やさしく教えてくださり、ありがとうございました。
  - 高校生と花の種をまくことができて、うれしかったです。きれいな花がさくのが楽しみです。

＜多古第一小学校3年＞

## 英 語 交 流

- 成田空港で、外国の方に英語でインタビューしたり、折り紙で折ったプレゼントを渡したりしました。親切な外国の方が多く、ドキドキしながらたくさんインタビューをすることができました。

＜昨年度実施 中村小学校＞

- 高校生が活動に入ってくれて安心しました。高校生のようには英語を話せるようになると、将来外国の方に何かを聞かれたときに役立つだろうと思いました。
- 英語は難しいけれど、勉強すれば世界のいろいろな人と話せるようになる。これからの将来にむけて、英語をたくさん覚えていきたいと思いました。

＜久賀小学校＞



## キャリア教育研究部 広報班より

キャリア教育は、子どもたちが将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるために、教育活動内にある、児童・生徒のキャリア発達を促すのに有効な諸要素—学習内容や指導方法、生活・学習習慣、体験的な活動—を意図的かつ相互的につなぎながら、学校の教育活動全体で進められています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、小学生の「ゆめ・仕事びったり体験」、中学生の「職場体験」が実施できませんでした。そこで、職場体験以外の学校内におけるキャリア教育の実践を広報誌に掲載することになりました。これは、特別活動を要しつつ、学校行事、総合的な学習の時間、社会科など各教科等の特質に応じたキャリア教育の実践となっています。

コロナ禍ではありましたが、キャリア教育でお世話になった皆様には、心より感謝申し上げます。今後も、受け入れ先事業所等の方との連携を図り、キャリア教育の成果を広報誌等で発信していきたいと思っています。